

子ども・子育て支援事業計画 平成30年度事業実績・平成31年度個別事業計画

資料No. 4

〈基本方針1〉子どもが健やかに育つ子育て支援

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
経済的支援	1 児童手当	子育て支援課	中学校終了前の児童を養育している人に支給 ・支給額 3歳未満 月15,000円、3歳以上小学校終了前(第1子・2子)月10,000円(第3子)月15,000円、中学生 月10,000円	・支給実績 延98,233人 1,087,130千円	中学校終了前の児童を養育している人に支給 ・支給額 3歳未満 月15,000円、3歳以上小学校終了前(第1子・2子)月10,000円(第3子)月15,000円、中学生 月10,000円
	2 子どもの医療費助成	健康推進課	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成を行う。 ・高校生の入院治療費を助成する。 ・8月診療分から現物給付方式導入。	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成を行う。 87,330件 135,441千円 ・高校生の入院治療費を助成する。13件 659千円 ・8月診療分から現物給付方式導入。	・就学前児童及び小中学生の入通院医療費の助成を行う。 ・高校生の入院治療費を助成する。
	3 出産祝金	子育て支援課 地域創造課	【過疎地域・田舎暮らしモデル地域】 「子どもの出産時に指定地域に住所を有し、定住する意思が認められること」及び「自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること」を満たした出産児の養育者に、出産祝金として第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円および第4子以降1人につき10万円を支給。 【上記以外の地域】 人口増対策として、第3子2万円、第4子以降1人につき5万円を支給する。	・伊那地域 58件 ・過疎地域 36件 ・田舎暮らしモデル地域 4件	【過疎地域・田舎暮らしモデル地域】 「子どもの出産時に指定地域に住所を有し、定住する意思が認められること」及び「自治会に加入し、地域活動に参加する意思が認められること」を満たした出産児の養育者に、出産祝金として第1子3万円、第2子5万円、第3子7万円および第4子以降1人につき10万円を支給。 【上記以外の地域】 人口増対策として、第3子2万円、第4子以降1人につき5万円を支給する。
	4 子育てすまいる	管理課	・子育て世代の世帯を対象に、高遠町および長谷地区にある市営住宅(中堅所得者層向け住宅)への入居要件を緩和し入居をしやすいとする。また、入居後の家賃を2割軽減し、経済的な支援を行う。	・平成30年度中に市営住宅(中堅所得者層向け住宅)に入居した子育て世帯は14世帯あった。このうち、所得要件の緩和によって入居した世帯が4世帯であった。	・引き続き前年度と同様の子育てすまいる事業を実施する。 ・伊那市営住宅条例の改正を検討する。(住宅家賃の特例。令和3年3月まで)
出産環境の整備	5 妊婦、出生届出時相談、指導	健康推進課	・妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応する。	妊婦相談数465人、転入妊婦35人	・妊娠届出時に保健師による個別相談と指導を実施する。届出全数に対応する。
	6 妊婦一般健康診査	健康推進課	・一般健康診査(14回分)を公費負担する。	県内医療機関利用述べ数9,149枚 県外医療機関利用者数31人	・一般健康診査(14回分)を公費負担する。
	7 ハイリスク妊産婦への訪問指導、相談	健康推進課	・妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊産婦に対し、養育支援ネットワーク会議を開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をする。	月1回開催(年12回) 新規養育支援者検討件数65件 継続支援者検討件数延べ169件	・妊娠届出時の個別相談において把握したハイリスク妊産婦に対し、養育支援ネットワーク会議を開催して支援計画を作成し、保健師の訪問等により継続支援をする。
	8 ハッピーバース講座の充実	健康推進課	・毎月1講座、4回開催し、3か月に1回の割合で親育て、孫育て講座を実施する。 ・4箇所の産婦人科医療機関にポスター、パンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。	①食事編年8回 ②体の準備編年11回 ③出産育児編年11回 ④みんなで育児編年4回 参加述べ数317人 産科へのポスター掲示や参加啓発を依頼した。	・毎月1講座、4回開催し ・4か月に1回の割合で親育て、孫育て講座(名称を子育て講座に変更する)を実施する。 ・4箇所の産婦人科医療機関にポスター、パンフレットを継続して置き、事業の啓発拡大を行う。
	8-1 出産応援セミナーの開催	健康推進課	—	—	新規 出産前2か月くらいの妊婦を対象として、出産を安心して迎え、産後に使えるサービスや支援について伝えるための出産応援セミナーを月1回開催する。

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
出産環境の整備	9 不妊治療費助成事業	健康推進課	・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の一部助成をする。市ホームページへの掲載、県窓口にパンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。	50件(参考:H29年度実績 34件)	・不妊治療者の経済的負担の軽減のため、治療の一部助成をする。市ホームページへの掲載、県窓口にパンフレットを置き、事業の啓発拡大を行う。
	10 ママヘルプサービス	健康推進課	・出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行う。	11人利用(参考:H29年度実績 3件)	・出産後に家族内に家事、育児等の補助者のいない家庭に、出産の翌日から12週以内でヘルパー派遣の補助を行う。
	11 産後ケア事業	健康推進課	・産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊型支援の利用に対して補助を行う。	7人利用、平均利用日数2.1日(参考:H29年度実績 1人) H30年度から、補助率2/3限度額17,500円とした。(H29年度まで補助率1/2限度額12,500円)	・産褥期の機能回復に不安のある者や初産婦等で育児不安のある者を対象に、7日間限度で上伊那管内クリニックや助産院等での宿泊型支援の利用に対して補助を行う。今年度からさらに使用しやすいように日帰り利用も可とした。
	12 助産施設への入所	子育て支援課	・経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。	・実施なし	・経済的理由により入院助産を受けることが出来ない妊産婦に対し中央病院に入院助産委託する。
子どもと親への健康支援	13 乳幼児健康診査	健康推進課	・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) ・3か月乳児健診月3回 ・1歳6か月児健診月3回 ・6か月乳児相談月3回 ・2歳児健診月3回 ・10か月乳児健診月3回 ・3歳児健診月3回 ・3歳児健診時に園長及び巡回保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げていく。	・医療機関で実施する乳児一般健康診査 376人 ・3か月乳児健診年31回 ・1歳6か月児健診年31回 ・6か月乳児相談年31回 ・2歳児健診年32回 ・10か月乳児健診年33回 ・3歳児健診年30回 ・3歳児健診時に園長及び巡回保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げた。	・医療機関で実施する乳児一般健康診査の受診券交付(1人1枚) ・3か月乳児健診月3回 ・1歳6か月児健診月3回 ・6か月乳児相談月3回 ・2歳児健診月3回 ・10か月乳児健診月3回 ・3歳児健診月3回 ・3歳児健診時に園長及び巡回保育士が参加し遊びの提供をしながら子どもの様子を見て保育園へ繋げていく。
	14 母子健康手帳発行	健康推進課	・妊娠届出者に母子手帳を発行する。	465人発行(内外国人18人)	・妊娠届出者に母子手帳を発行する。
	15 予防接種	健康推進課	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨は差し控え) ・水痘 ・B型肝炎	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨は差し控え) ・水痘 ・B型肝炎	法定予防接種の実施(すべて個別接種) ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・四種混合(百日せき、破傷風、ジフテリア、ポリオ) ・BCG ・麻しん風しん ・日本脳炎 ・子宮頸がん(積極的勧奨は差し控え) ・水痘 ・B型肝炎
	16 育児・母乳相談	健康推進課	・医療機関や助産所助産師による育児・母乳相談を受ける場合の補助を行う。(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人3枚交付)	利用枚数518枚	・育児母乳等相談券の名称を「育児相談券」に変更し、使用目的を明確にし、医療機関や助産所助産師による育児相談を受ける場合の補助を行う。(1歳6か月までの間で、2,000円の助成券を1人3枚交付)
	17 小児慢性特定疾患患者への見舞金支給	健康推進課	・伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給する。	・伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給 6人	・伊那市難病患者等見舞金(小児慢性特定疾患分 年額10,000円 所得制限あり)を支給する。

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
子どもと親への健康支援	18 休日救急当番運営事業	健康推進課	・休日緊急当番医事業(上伊那医師会)及び休日緊急歯科診療事業(上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会)の費用を負担し事業を継続実施する。	・在宅当番医制事業負担:1,994千円 ・休日緊急歯科診療事業助成金:2,382千円	・休日緊急当番医事業(上伊那医師会)及び休日緊急歯科診療事業(上伊那口腔保健センター・上伊那歯科医師会)の費用を負担し事業を継続実施する。
相談体制の充実	19 乳児(新生児)訪問指導・養育支援訪問事業	健康推進課 子育て支援課 学校教育課	・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行う。出生全数に対応する。 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行う。 ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行う。 ・子ども相談室と連携し、保健師等が養育支援を行う。	・赤ちゃん訪問の実施 訪問数457件 ・養育支援の必要な母子に対して訪問支援を行った。 ・妊娠中から心配のされる家庭について、訪問指導や、計画に基づく養育支援を実施。 ・家庭児童相談員、子ども相談室との定期および、随時ケース会議を開催。	・乳児の健全な発育発達の援助と母親の不安や悩みについて訪問支援を行う。出生全数に対応する。 ・妊娠中から出生後の母子への養育訪問支援を行う。 ・母子家庭の母に対して保健師及び家庭児童相談員と連携支援を行う。 ・子ども相談室と連携し、保健師等が養育支援を行う。
	20 育児相談	健康推進課 子育て支援課 学校教育課	・ことばと育ちの相談(予約制) 毎月1回 ・各支所、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回 ・高遠町保健センター 毎月2回 ・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施 ・子育て、教育に関する相談 随時実施	・ことばと育ちの相談年12回実施、利用者41人 ・各支所、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回実施 ・高遠町保健センター 毎月2回実施 ・本庁、伊那市保健センター育児相談 毎日実施 ・教育相談員による子育て、教育に関する相談 随時実施 ・巡回保育士による保育園での巡回相談を実施	・ことばと育ちの相談(予約制) 毎月1回 ・各支所、長谷健康増進センター育児相談 毎週1回 ・高遠町保健センター 毎月2回 ・本庁、伊那市保健センター育児相談 随時実施 ・子育て、教育に関する相談 随時実施
	21 こころの相談	健康推進課	・こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行う。 毎月2日 伊那市保健センター(予約制)	こころの相談年間36回開催、相談延数150人	・こころの健康のバランスを崩す心配がある子どもや両親に対し、臨床心理士による相談支援を行う。 毎月2日 伊那市保健センター(予約制)
	22 子育て講座・親育て講座	健康推進課 子育て支援課 生涯学習課	・ハッピーバース講座の中で、3か月に1回、親育て講座を開催する。 ・子育て支援センターで、保健師が子育て講話を行う。 ・1歳6か月児健診の中で、臨床心理士が子育て講話を行う。 ・子育て支援センター5カ所で子育て講座を開催する。 ・市内9公民館で子育て学級の中で開催する。 ・各支所公民館で、随時相談等に対応できる体制を整える。	・ハッピーバース講座の一環として年3回親育て、孫育て講座を開始した。延参加数37人 ・子育て支援センター5カ所で、保健師の講話(59回)を含め、子育て講座を開催した(164回)。 ・市内9公民館において子育て学級を開催した。 講座開催回数 107回 登録親子組数 181組 ・各公民館とも、保健師と連携をとりながら、必要な時に育児相談を受けられる体制をとっている。	・ハッピーバース講座の中で、4か月に1回、親育て講座を開催する。 ・子育て支援センターで、保健師が子育て講話を行う。 ・市内9公民館において開催している子育て学級について、より多くの子育て世代が、気軽に参加できるよう、関係部署や各機関と連携し広報等に努める。 ・託児ボランティアなどの協力を得ながら、母親、父親向けの講義などの開催も計画する(目標:全館合わせて3回)。

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
子育て支援体制の構築 育児支援と情報提供	23 子育て支援センター事業	子育て支援課	上の原・竜南・富巣・美篤・西箕輪の5センターの運営 ・育児用品などのリサイクル交換会を行う(富巣)。 ・地域交流を行う。	・5センター延べ利用者数34,476人 ・リサイクル会 富巣3回実施 ・旧高遠保育園への子育て支援センター設置に向けての実施設計を行った。 ・緊急エアコン設置工事実施	・上の原・竜南・富巣・美篤・西箕輪の5センターの運営 ・育児用品などのリサイクル交換会を行う(富巣)。 ・地域交流を行う。 ・高遠子育て支援センター開設のための改築工事と運営
	24 ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 ・7月に協会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催	・伊那地域定住自立圏で合同協会員養成講座を開催した。 ・新規協会員 13名 ・活動件数 636件 ・スキルアップ研修会3市町村参加 13名参加	会員相互の地域での助け合いの託児等の支援 ・6、7月に協会員養成講座を定住自立圏で共同開催し会員増を図る。 ・スキルアップ研修会開催
	25 子育てサポーター事業	子育て支援課	ボランティアで子育て支援をしてくれる人を募集し養成する。 ・あり方についての研究、検討を行う。	・活動件数 4件	ボランティアで子育て支援をしてくれる人を募集し養成する。 ・あり方についての研究、検討を行う。
	26 子育てサークル等の拡充	子育て支援課 健康推進課	・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。	・子育てサークル数 15サークル	・子育てガイドブックで子育てサークルを紹介する。 ・乳幼児健診や乳児訪問時に必要な親子に子育てサークルを紹介する。
	27 子育て支援短期利用事業	子育て支援課	・一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」に宿泊委託する。 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。	・3名 6日利用	・一時的(1回利用が7日間まで)に保護者が養育を行うことが困難である時、児童養護施設「たかずやの里」に宿泊委託する。 ・たかずや福祉会の運営に対する支援を行う。
	28 子育て学級	子育て支援課 生涯学習課	・市内9公民館での子育て教室を開催する。 ・公民館の子育て学級の中で、保健師、栄養士・元保育士の方などを講師に講話を行う。	・市内9公民館において子育て学級を開催した。 講座開催回数 107回 登録親子組数 181組 ・講座開催時に必要に応じて保健師への協力を依頼した。 ・講座運営スタッフとして、元保育士に参加を依頼した。	引き続き、保健師や元保育士など、育児に対する知識や経験のある方に協力を依頼し、講演会、学習会など開催し、各公民館で子育て講座の充実を図る。
	29 子育てサークルや団体への支援	子育て支援課	・特技を持った子育てサポーターによる活動支援及びファミリー・サポート・センター協会員による活動の託児 ・育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話を行う。	・さくらんぼの会 年4回実施 延べ13組参加	・特技を持った子育てサポーターによる活動支援及びファミリー・サポート・センター協会員による活動の託児 ・育児サークル「さくらんぼの会」等で育児講話を行う。
	30 事業者への啓発活動	商工振興課	・出産・育児に対する企業の理解を深めるため、企業訪問の際に関連パンフレットを配布し啓発に努める。 ・商工関係団体へワークライフバランス推進セミナー等の開催情報について周知する。	・上伊那地方企業人権教育推進協議会との連携による研修会を開催するなど、仕事と家庭の両立に向けた意識の醸成を図った。 ※企業人権教育推進研修会(79企業 15団体 合計113人)	・出産・育児に対する企業の理解を深めるため、企業訪問の際に関連パンフレットを配布し啓発に努める。 ・商工関係団体へワークライフバランス推進セミナー等の開催情報について周知する。
31 ながの子育て家庭優待パスポート事業	子育て支援課	・事業者募集と転入者などの新規加入者にカードを発送する。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。	・参加事業者 137店 ・多子世帯応援プレミアムパスポート参加 39店	・事業者募集と転入者などの新規加入者にカードを発送する。 ・パスポート事業周知や紛失時に再発行できることなどの広報を行う。	

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
ひとり親家庭への支援	32 遺児等福祉金	子育て支援課	・父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額14,000円を支払う。(8月)	・61件(96人) 1,344,000円	・父又は母が死別、重度障害となった18歳未満の児童を養育する保護者に児童1人年額14,000円を支払う。(8月)
	33 母子父子自立支援員の設置	子育て支援課	・子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等自立に向けた支援を行う。	・相談件数 242件	・子ども相談室や関係機関と連携し、ひとり親家庭の相談や就労支援等自立に向けた支援を行う。
	34 児童扶養手当	子育て支援課	・ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額(所得制限あり)児童1人 全部支給月額42,500円 一部支給10,030円～42,490円第2子以降加算あり	・支給人数 延5,733人 223,334,910円	・ひとり親家庭に対する生活の安定と自立支援のため満18歳の年度末までの児童を養育する保護者に手当を支給 支給額(所得制限あり)児童1人 全部支給月額42,910円 一部支給10,120円～42,900円第2子以降加算あり
	35 母子・父子家庭医療費助成	健康推進課	・ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。(所得制限あり) ・子(満18歳に達する日以後の最初の3月末まで)を対象に8月診療分から現物給付方式導入。	・ひとり親家庭の親子等の医療費を助成 母子10,969件 21,466千円 父子519件 1,278千円 ・子(満18歳に達する日以後の最初の3月末まで)を対象に8月診療分から現物給付方式導入。	・ひとり親家庭の親子等の医療費を助成する。(所得制限あり)
	36 ひとり親家庭の親と子の集い	子育て支援課	ひとり親家庭対象のバスハイク(市のバス2台)実施 ・日時:7月7日(土) ・場所:名古屋港水族館	・11月10日(土)台風のため日程変更 参加者 38名	ひとり親家庭対象のバスハイク実施 ・日時:5月18日(土)富士急ハイランド
	37 母子生活支援施設の広域入所	子育て支援課	・DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。	・実施なし	・DV等で支援が必要な母子家庭を母子生活支援施設へ入所させる。
	38 母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	・ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援をファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣する。	・1世帯 33回	・ひとり親家庭の母親の就労等による託児支援をファミリー・サポート・センター会員を支援員として派遣する。
	39 母子家庭自立支援事業	子育て支援課	・ヘルパー資格就業修了者や准看護師の修業者に給付を行う。 ・関係者と連携し就労支援や家庭支援を行う。	・自立支援(ヘルパーなど) 1件 ・高等職業訓練(准看護師など) 7件	・ヘルパー資格就業修了者や准看護師の修業者に給付を行う。 ・関係者と連携し就労支援や家庭支援を行う。
	40 母子父子寡婦福祉資金の貸付	子育て支援課	・ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等の長野県の貸付の受付を行う。	・貸付件数 2件	・ひとり親家庭の子どもが専門学校等に進学する際の修学資金等の長野県の貸付の受付を行う。
	41 ひとり親家庭生活資金貸付金	子育て支援課	・ひとり親家庭の家計支援策として、児童扶養手当を1か月分を貸し付ける。家計やりくり指導も行う。	・32人 74件(H29年度19人21件)	・ひとり親家庭の家計支援策として、児童扶養手当を1か月分を貸し付ける。家計やりくり指導も行う。

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
療育相談と療育の充実	42 障害福祉サービス	社会福祉課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年4回開催予定。 ①障がい児福祉計画、県の発達障がい者支援施策、児童発達センターの設置についての動向などを共有する機会を持つ。 ②学童クラブ、放課後等デイサービスの課題共有および検討。 ③成長ダイアリー改訂のWGの実施。 ④就業部会と合同で引き続き教育から就業への連携について扱う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年6回開催。 ①障がい児福祉計画、県の発達障がい者支援施策、児童発達センターの設置についての動向などを共有する機会を持った。(6月22日) ②就業部会と合同で引き続き教育から就業への連携についての事例検討を行った。(8月3日) ③成長ダイアリーの改訂についての意見交換会。(9月28日) ④上伊那圏域発達障害サポートマネージャーとの合同研修会を開催。(2月14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域地域自立支援協議会療育部会を年4回開催予定。 ①療育に関わる研修会を企画し、併せて圏域の課題について他の部会等と連携しながら検討する。 ②地域分析に関わるWG(市町村保健・福祉・教育担当課、市町村代表特別教育コーディネーター、医療機関等)を設置し、各市町村の母子保健から学齢期における支援体制について地域分析の手法を用いて統一フォーマットにて分析を行う。(年4回程度)
	43 児童発達支援事業、療育相談	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が通園し、生活や遊びを通して心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。 ・児童発達支援事業所として1日30人の児童と重度心身障害児5人を受け入れる。 ・児童発達支援事業所小鳩園の児童発達支援センター化に向けて検討する。 ・子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査、発達等相談支援延べ人数 457人(内、相談支援関係は156人) ・児童発達支援事業所小鳩園の児童発達支援センター化に向けて、基本構想の策定を進めた。 ・緊急エアコン設置工事実施(保育室・託児室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が通園し、生活や遊びを通して心身の発達に支援を必要とする子どもの発達育成を図る。 ・児童発達支援事業所として1日30人の児童と重度心身障害児5人を受け入れる。 ・児童発達支援事業所小鳩園の児童発達支援センター化に向けて検討を進める。 ・子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。
	44 あそびの教室	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぷ・すてっぷ(2教室)月2回 すてっぷミニどんぐり月2回 小グループ(たんぼぼ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査、発達等相談支援延べ人数 457人(内、相談支援関係は156人) じゃんぷ年19回(参加延数221人) すてっぷ年19回(参加延数264人) すてっぷミニ年9回(参加延数79人) どんぐり年14回(参加延数38人) 小グループたんぼぼへの移行17人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども相談室で、様々な不安や悩みを抱える子どもが自立へ向けて生きていく力を培うための相談・支援を行う。 ・専門的な支援が必要と思われる子どもに対して集団遊びを行い発達を促すとともに、親に対して適切な育児支援を行う。 じゃんぷ・すてっぷ(2教室)月2回 すてっぷミニどんぐり月2回 小グループ(たんぼぼ)
児童虐待予防と早期発見・早期対応	45 子どもの総合相談窓口の充実	健康推進課 子育て支援課 学校教育課 社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設する。 ・子ども相談室で、0歳から18歳までの支援を途切れなく行っている。 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要対協対象者の進行管理人数 144人(H31年3月末現在) ・関係機関とのケア会議 252回 ・各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども相談室で、0歳から18歳までの支援を途切れなく行っている。 ・要保護児童対策協議会等において、関係機関と連携を図る。 各支所、伊那市保健センター、高遠町保健センター、長谷健康増進センターで定期健康相談窓口を開設する。
	46 要保護児童地域対策協議会の充実	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努める。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会 年2回(6月、2月) 医療関係者。特別支援学校、小中学校、有識者、警察、弁護士、法務局、人権擁護委員会、児童養護施設、児童委員、社会福祉協議会、幼稚園、保育園、PTA代表者等 ・実務者会 年11回(4月～2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会により、関係機関の代表者や担当者との連携を図り、児童虐待の早期発見と対応や継続支援を行い、重篤事例の発生防止に努める。また、要保護児童の情報共有や支援内容の協議と見直しを定期的に行い、子どもの安心できる生活環境の構築を図る。
	47 虐待予防自助グループ	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに悩んだり自信が持てない母親に対し、子育てワークショップ1回、自助グループ6回(親育ちプログラム)を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てワークショップ1回(参加者10人) 自助グループ6回(参加延べ人数30人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに悩んだり自信が持てない母親に対し、子育てワークショップ1回、自助グループ6回(親育ちプログラム)を開催する。

〈基本方針2〉乳幼児保育と幼児教育の充実

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
保育・教育 内容の充 実	1 保育内容の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上を図るため、保育士研修を積極的に行う。 ・園長会や保育プロジェクト委員会等において、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題等について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の充実を図るため、保育プロジェクト委員会、幼保小連携推進委員会を継続し、運動あそび・食育・木育・自然体験、幼保小連携等を充実させた。 ・保護者アンケートを実施し、ニーズを把握し、次期計画の参考としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上を図るため、保育士研修を積極的に行う。 ・園長会や保育プロジェクト委員会等において、情報交換を行いつつ、さらなる充実に向けた課題等について検討する。
	2 保育園保育料軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行う。 ・多子世帯に対し保育料の軽減を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の負担軽減を図るため、市独自の基本保育料の減額を拡充した。 ・多子世帯に対し保育料の軽減を継続して実施した。 ①年収360万円未満相当の要保護世帯等に対し保育料の軽減。H29からのきょうだい上限撤廃の継続。 第1子1/2軽減 第2子以降無料 ②年収360万円未満相当の世帯に対し、H29からのきょうだい上限撤廃の継続。 第2子1/2軽減、第3子以降無料 ③同時通園の場合 2人目:1/2軽減 3人目以降:無料 ④第3子以降無料 ⑤保育料徴収基準階層の調整(きょうだい上限中学生まで) きょうだいが3人以上いる場合、保育料の階層を引き下げを継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の負担軽減を図るため、基本保育料の減額を行う。 ・多子世帯に対し保育料の軽減を行う。
	3 幼稚園保育料等軽減	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行う。 ・施設型給付費を支給し利用者負担を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園、天使幼稚園に施設型給付費を支給し利用者負担を軽減した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の負担軽減を図るため、基本利用料の減額を行う。 ・施設型給付費を支給し利用者負担を軽減する。
	4 幼・保・小連携	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、教員の資質向上 園内、校内研修の実施 「幼保小連携プログラム」の充実 ・地域ごとの連携 相互の一日体験の継続と充実 授業参観、保育参観、公開授業保育を継続する。 ・「幼保小連携プログラム」の成果と課題の検証 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築する。 ・幼保小連携推進委員会を開催し(年3回)、引き続きより良い連携の在り方を検討していく。 ・幼保小連携プログラムの実践と検証を行う。 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を継続する。 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について、「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ支援を継続していく。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育・公開授業を通して地域のつながりをさらに確認し、連携を深めた。 ・幼保小連携推進委員会を3回開催し、より良い連携の在り方を検討した。 ・幼保小連携プログラム(アプローチカリキュラム及びスタートカリキュラム)の実践と検証を行った。 ・保育士及び教職員相互の一日体験研修を行い、相互理解、職員同士の関係を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、教員の資質向上 園内、校内研修の実施 「幼保小連携プログラム」の充実 ・地域ごとの連携 相互の一日体験の継続と充実 授業参観、保育参観、公開授業保育を継続する。 ・「幼保小連携プログラム」の成果と課題の検証 ・連続性、一貫性を持って子どもの育ちと学びを支援していくことのできる体制を構築する。 ・幼保小連携推進委員会を開催し(年3回)、引き続きより良い連携の在り方を検討していく。 ・幼保小連携プログラムの実践と検証を行う。 ・実態を体験的に感得する機会として教職員相互の一日体験を継続する。 ・発達上支援の必要な乳幼児・学童・生徒について、「成長ダイアリー」を活用し、乳児期から幼稚園・保育園、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校、就労支援へ情報をつなぎ支援を継続していく。 ・保育園、幼稚園児、小学校、中学校の児童生徒間相互の交流を進める。

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
	5 食育への取組	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各園ごと地域協働による食育活動を実施(畑作り、稲作、餅つき、クッキング等) ・食育年間計画に沿った月齢別の食育活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画に沿った月齢別食育の推進 ・各園での地域協働の食育活動 ・保育士、給食技師を対象にした子どもの食についての研修会実施(離乳食・乳児食・アレルギー対応など)
保育・教育サービスの充実	6 延長保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕16:00～18:30まで 16園 朝7:30～8:00 夕16:00～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕16:00～19:00まで 1園 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕16:00～18:30まで 16園 朝7:30～8:00 夕16:00～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕16:00～19:00まで 1園 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内23園中、23園で実施 朝7:30～8:00 夕16:00～18:30まで 16園 朝7:30～8:00 夕16:00～19:00まで 6園 朝7:00～8:00 夕16:00～19:00まで 1園
	7 一時保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7園で実施 上の原保育園、竜南保育園、高遠保育園、伊那保育園(私立)、つくしんぼ保育園(私立)、認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園、緑ヶ丘敬愛幼稚園(私立)
	8 地域活動事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭解放。園解放など各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭解放。園解放など各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭解放。園解放など各保育園にて実施 ・全保育園にて地域交流を実施 小学校・中学校・高校・高齢者クラブ・小鳩園・信州大学・地産グループ等
	9 休日保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年12月29日からH30年1月3日までを除く日曜・祭日の保育を実施 場所:上の原保育園 	<ul style="list-style-type: none"> 12月29日から1月3日までを除く日曜・祭日の保育を実施 場所:上の原保育園 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月29日から1月3日までを除く日曜・祭日の保育を実施 場所:上の原保育園
	10 病児・病後児保育事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外2カ所 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気療養中で、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かることを実施 市内1カ所(病後児保育)、市外2カ所(病児・病後児保育) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気療養中及び回復期において、集団保育が困難な場合に、児童を一時的に預かる。 市内1カ所、市外2カ所
	11 幼稚園の長期休業預かり	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業時の預かり保育を市内1幼稚園で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業時の預かり保育を市内幼稚園で実施
	12 障害児保育の充実	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた保育士の加配を行う。 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた保育士の加配を行う。 ・巡回チームによる巡回相談 ・支援保育に関する研修会実施
保育士・幼稚園教諭等の資質の向上	13 職員の資質向上	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 職層研修・・・各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。 専門研修・・・職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ 特別研修・・・そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長、副園長、リーダー、中堅、新人、給食担当者等各研修 ・保健衛生専門研修会 ・保育所地域子育て塾 ・主任保育士、主幹保育教諭特別講座 ・保育園職員研修等実施 ・保育内容研究、園内研修等多くの研修を実施し職員の資質向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 職層研修・・・各職層に求められる職務遂行能力の向上と専門性を学ぶ。 専門研修・・・職務ごとに求められる専門的理論・技術を学ぶ 特別研修・・・そのほかの研修では実施が予定されていない内容であって、情勢に応じて早期に園全体で受講する必要がある場合

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
地域に密着した保育・幼稚園等の運営	14 地域との連携	子育て支援課	・地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。	・地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施した。	・地域運営委員会を中心に、地域との交流保育を全園で実施する。
保育・教育環境の整備	15 施設整備	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の芝生化を推進する。(竜南・東春近・西箕輪・西春近北・西春近南約1,200㎡計画) ・高遠保育園建設事業を実施する。(建設工事、電気設備工事、機械設備工事、機械警備) ・高遠北小非構造部材耐震化他工事 ・伊那中トイレ改修工事 ・伊那西小、高遠小屋根・外壁等改修工事 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の芝生化を推進。(竜南・東春近・西箕輪・西春近北・西春近南約1,200㎡実施) ・高遠保育園建設完了。(建設工事、電気設備工事、機械設備工事、ペレットボイラー設備設置工事) ・保育園緊急エアコン設置工事実施 ・高遠北小非構造部材耐震化工事 ・伊那中学校トイレ改修工事 ・伊那西小、高遠北小体育館屋根・LED他改修工事 ・高遠小学校ランチルーム屋根改修工事 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の芝生化を推進(竜西・竜東・伊那北・美篤西部・手良約1,200㎡計画) ・新山保育園建設事業を実施する。(用地・地形測量業務、解体・造成設計業務) ・富県小、西箕輪小、西春近南小、長谷小体育館非構造部材耐震化他(屋根・LED照明改修等)工事 ・高遠中学校防火扉改修工事 ・全小中学校冷房設備設置工事 ほか
乳幼児とのふれあいの場の提供	16 乳幼児健診体験学習(中学生)	健康推進課	・高校生が乳幼児とのふれあい体験により、いのちの大切さや母性父性の育成を行う。(希望する高校等)	実施高校 1校(12人)	・高校生が乳幼児とのふれあい体験により、いのちの大切さや母性父性の育成を行う。(希望する高校等)

〈基本方針3〉青少年健全育成と家庭教育の充実

	具体的な施策	所管課	H30年度 事業計画(具体的内容)	H30年度 事業実績	H31年度 事業計画(具体的内容)
子どもの安全安心な居場所確保	1 学童クラブの充実	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業特別学童クラブの開設 ・入所希望調査実施(9月) ・施設の修繕 ・必要備品の購入 ・支援学級児童の利用検討 ・新山小学童クラブの移転検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業特別学童クラブの開設 ・入所希望調査実施(9月) ・施設の修繕 ・必要備品の購入 ・支援学級児童の利用検討 ・新山小学童クラブの移転検討 ・緊急エアコン設置工事実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブ使用料の改定(月額5,000円を3,000円へ) ・長期休業特別学童クラブの開設、拡充(受入開始時間) ・入所希望調査実施(9月) ・施設の修繕 ・必要備品の購入 ・支援学級児童の利用検討 ・高遠小学童クラブの移転 ・伊那北小学童クラブの改修
	2 子どもの安全対策	危機管理課 生涯学習課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール隊(子どもの安全見守り隊)の活動 ・「青色パトロール」の実施 ・街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間 ・「子どもを守る安心の家」の委嘱 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全見守り隊の活動に必要な、名札や印刷用紙、カラーコーン、コーンバーなどの消耗品の支給を実施した。 ・青色防犯パトロール年間実施日244日 ・青バト講習会受講者数113人(うち新規19人) ・街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども安全見守り隊の活動に必要な各種消耗品に対して支給を行い、見守り隊の活動に対するサポートを行っていく。 ・「青色防犯パトロール」の実施 ・街頭補導の実施 毎週土曜日及び第3日曜日、学校長期休業期間
	3 公園整備	都市整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・公園遊具保守点検(15公園78遊具)年1回 ・伊那公園ローラー滑り台更新 ・鳩吹公園アケビ棚改修 ・美原公園四阿改修工事 ・その他遊具の修理・塗装 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門業者による遊具点検の実施(15公園 80遊具)年1回 ・伊那公園滑り台更新工事 ・鳩吹公園アケビ棚改修工事 ・美原公園東屋改修工事 ・春日公園多目的トイレ自動ドア改修工事 ・その他修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園遊具保守点検 年1回 ・木製遊具 防腐剤・塗装 ・その他修繕
	4 児童遊園地設置補助事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治団体が児童遊園地を設置((補助率1/2以内)、増設(補助率1/3以内)、改修(補助率1/3以内)する事業に対し予算の範囲内で補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設1件、増設1件に対し補助金を支給 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治団体が児童遊園地を設置((補助率1/2以内)、増設(補助率1/3以内)、改修(補助率1/3以内)する事業に対し予算の範囲内で補助する。
地域活動の充実	5 育成会等の団体への支援	生涯学習課 スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営7競技22団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の75教室委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市スポーツ少年団の事務局運営 7競技22団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブへ通年開催の75教室を委託 ・伊那市青少年健全育成事業支援 33団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那市スポーツ少年団活動支援 事務局運営7競技22団体 ・伊那市総合型地域スポーツクラブ活動支援 通年開催の75教室委託 ・伊那市青少年健全育成事業支援 34団体
	6 よりよい教育環境づくり	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい教育環境推進連絡会の開催(7月・2月) ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい教育環境推進連絡会の開催(7月・2月) ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい教育環境推進連絡会の開催(8月) ・信州あいさつ運動(毎月11日)実施の周知及び協力依頼
家庭教育の推進	7 「親育て」の取り組み	健康推進課 子育て支援課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーバース講座」で、子育て・孫育て講座を実施 ・子育てに悩んだり自信が持てない母親に対して、子育てワークショップ1回と虐待予防自助グループ(親育ちプログラム)6回を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て孫育て講座 4回/年。(参加人数述べ37人) ・ワークショップ 1回/年。(参加者10人) ・自助グループ会 6回/年。(参加者延べ30人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーバース講座」で、子育て・孫育て講座を実施 ・子育てに悩んだり自信が持てない母親に対して、子育てワークショップ1回と虐待予防自助グループ(親育ちプログラム)6回を開催する。